



はじめて食べさせる離乳食に不安はありませんか



- ・1歳未満の食物アレルギーのほとんどは、卵・牛乳・小麦が原因
- ・食物アレルギーの正確な診断には、実際に食べてみて確認する食物経口負荷試験（以下、負荷試験）が必要
- ・ご家庭で安全に食べられそうな量を医師と一緒に見つけませんか？（当院の負荷試験は、症状が出るまで続ける試験ではないです）

☞検査の実際はこんな感じ

- ・食物アレルギーの原因として疑われる食材、あるいは食品を1回または2回に分割して、院内で実際に召し上がっていただきます。（口の周りの赤みや局所のじんましんだけなら経過を観察するのみ）
- ・万が一、症状が強く出た場合は必要に応じて吸入や内服などを行い、連携医療機関である成育への搬送も速やかに検討します。

☞以下の点にご注意ください

- ・過去にアナフィラキシーを起こした方、アナフィラキシーを認めた食材・食品での負荷試験、消化管アレルギーの負荷試験は行っておりません。

☞検査までの流れはこちら

- ①受診して検査（皮膚テストor/and採血）→②結果説明（皮膚テストのみなら当日中に説明）と同意書の作成、負荷試験の日程を決定
※負荷試験は、木曜午前のみとなります（予約は窓口or電話のみ）
※保険診療内なので、食材の費用を除き試験にかかる費用は基本的にはありません（23区外は一部自己負担あり）

（・・・よくある質問です

- ・まずはいつ受診すると良い？ 乳健・ワクチンの枠だとゆっくりとお話できます
- ・試験時間はどの程度？ 食後2時間は経過を拝見する必要があり、スムーズだと、9時に開始で11時半ころに終了
- ・どんな食材はできない？ 主に、ナッツ類やアナフィラキシーを起こした食材
- ・年に何回負荷試験はできます？ 年3回まで（保険診療内）
- ・負荷試験は必ず行うべき？ 家庭で食べていて問題なければ不要

